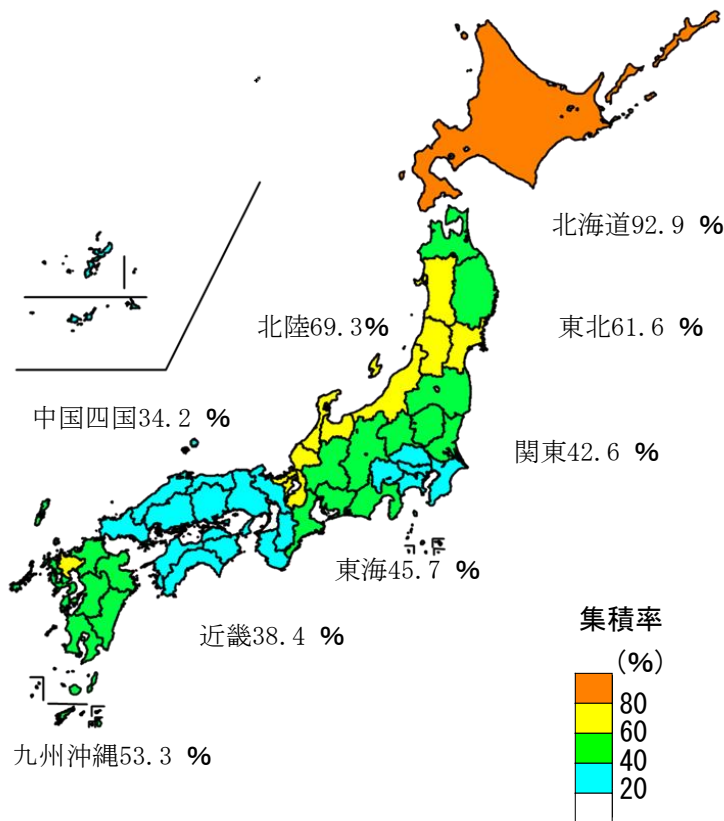


ブロック別の担い手への農地集積の傾向分析

【ブロック別】

全国 62.1%



- ※ 集積率は、令和8年3月末時点の数字
- ※ 本資料は公表資料等を基に農地政策課作成
- ※ ブロック別の値については公表されている都道府県値の積み上げにより算出している。

| | 集積率 | 傾向 |
|------|-------|---|
| 全国 | 62.1% | <ul style="list-style-type: none"> • 基盤整備率が高い地域や集落営農による取組が盛んな地域は集積も進んでいる。 • 中山間地域の割合が高い地域（近畿・中国四国）や都市的地域の割合が高い地域（関東・東海）は集積が進みにくい傾向。 |
| 北海道 | 92.9% | <ul style="list-style-type: none"> • 基盤整備率が田で98.7%、畑で96.4%と高く、集積も進んでいる。 • 農業経営体の9割以上が担い手。1経営体当たりの平均経営面積は30ha超。 |
| 東北 | 61.6% | <ul style="list-style-type: none"> • 中山間地域の割合が52.4%と高いものの、基盤整備率が70.9%と高く、また、集落営農による取組も盛んで集積が進んでいる（集積面積に占める集落営農の割合が宮城県は全国2位(16.6%)、岩手県は全国6位(9.6%)）。 |
| 関東 | 42.6% | <ul style="list-style-type: none"> • 都市的地域の割合が46.8%と高く、集積が進みにくい傾向。 |
| 北陸 | 69.3% | <ul style="list-style-type: none"> • ブロック内全県で水田率が約9割であり、基盤整備率も74.2%と高く、集積も進んでいる。特に福井県、富山県は基盤整備率が約9割と高く、また、福井県は集落営農の取組も盛んで集積が進んでいる（集積面積に占める集落営農の割合が福井県は全国4位(14.7%)）。 |
| 東海 | 45.7% | <ul style="list-style-type: none"> • 都市的地域の割合が57.9%と高く（全ブロックで1位）、集積が進みにくい傾向。 |
| 近畿 | 38.4% | <ul style="list-style-type: none"> • 中山間地域の割合が52.2%と高く、基盤整備率も62.1%と全国平均より低く、集積が進みにくい傾向。 |
| 中国四国 | 34.2% | <ul style="list-style-type: none"> • 中山間地域の割合が62.2%と高く（全ブロックで1位）、基盤整備率も47.0%と全国平均より低く（全ブロックで最下位）、集積が進みにくい傾向。 |
| 九州沖縄 | 53.3% | <ul style="list-style-type: none"> • 集落営農による取組が盛んな県では、集積が進んでいる。（集積面積に占める集落営農の割合が佐賀県は全国1位(26.3%)、福岡県は全国5位(10.1%)） <p style="text-align: right;">【参考:集積率】九州…54.9%、沖縄…30.3%</p> |

- ※ 基盤整備率（田面積に占める30アール以上の基盤整備済面積の割合）：全国69.3%、都府県66.2%
- 集積面積に占める集落営農の割合：全国3.2%、都府県5.2%
- 中山間地域割合：全国43.9%、都府県43.3%
- 都市的地域割合：全国27.5%、都府県34.9%
- 水田率：全国54.3%、都府県67.0%